



美の学園 ・ あいさつ

ヤエザクラ

花言葉・・「豊かな教養」

校長 山浦 麻紀

新年度がスタートして早いものでもう1ヶ月が過ぎました。ソメイヨシノの桜の花びらも舞散り、ヤエザクラ、シバザクラの彩り華やかな、桜の天地饗宴の季節となりました。

雪とけて 村いっぱいの こどもかな (小林 一茶)

サクラ舞い ハートいっぱいの こどもかな (山浦 麻紀)

保護者の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

4月13日(土)の学校公開(授業参観・懇談会)には、多数ご参会いただきありがとうございました。様々な行事等が矢継ぎ早に行われたあわただしい4月でしたが、生徒達は新しいクラスにも馴染み、落ち着いて活動に取り組んでおります。子どもたち、一人ひとり、よく頑張っています。先生方にも感謝しています。

本校は、生徒会と生活委員が朝の登校時に「あいさつ運動」を展開しております。挨拶はとても不思議なもので、全然知らない間柄でも、言葉(日本語)の通じない相手でも、その心を開かせる大きな力を持っています。知らない土地に出かけた旅先などで、「お早うございます」「こんにちは」等の挨拶をすると難しい表情をした人も、にっこりと顔を綻ばせて挨拶をしてくれます。これは、意思伝達機能としての言葉が、その意味を離れ、言葉を交わすことによってお互いの人間関係を円滑にする、いわば潤滑油のような働きをするからです。挨拶の効果は、挨拶を交わすことによって、「相手と親近感を抱くことができる。さわやかな気持ちになれる。」ことではないでしょうか。そして、私は、昨日も小さなお子様をもつ近隣の方からお褒めの言葉を頂きました。

「岸中学校の生徒さんのあいさつは、カッコイイです。自分の子どもも通わせたいです！」

私も、とても嬉しく感じました。まさに、本日五月晴れ!といった気持ちになりました。

ところで、始業式・入学式・朝礼時の皆さんとの約束・お願いは、『美しい心』を発信して欲しい」、具体的には、「人間一人ひとりを大切にしたい」・・・ということでした。さて、クラスの友達を大切にしていますか?部活動の先輩や後輩を大切にしていますか?家族を大切にしていますか?そして、自分自身を大切に・・・していますか?

人間誰にでも、必ず、良さがある。合わせて不得手なこともある。相互に足らなさを責めるのではなく、よさを認め合い、足らなさを補い合い・・・より豊かな教育を構築し、挨拶日本一、笑顔溢れる質の高い「美の学園」を目指していきたいと思ひます。